

平成27年塩尻市議会3月定例会

総務環境委員会会議録

○日時 平成27年2月24日（火） 午前

○場所 全員協議会室

○審査事項

議案第32号 平成26年度塩尻市一般会計補正予算（第5号）中 歳入全般、第2条繰越明許費

○出席委員

委員長	古畑 秀夫 君	副委員長	横沢 英一 君
委員	山口 恵子 君	委員	森川 雄三 君
委員	青柳 充茂 君	委員	柴田 博 君
委員	塩原 政治 君	委員	中原 輝明 君

○欠席委員

なし

○説明のため出席した理事者・職員

省略

○議会事務局職員

議会事務局次長	青木 隆之 君	庶務係長	小澤 秀美 君
---------	---------	------	---------

午前11時34分 開会

○委員長 御苦労さまでございます。全員おそろいですので、ただいまから総務環境委員会を開会いたします。

議案第32号 平成26年度塩尻市一般会計補正予算（第5号）中 歳入全般、第2条繰越明許費

○委員長 それでは、議案第32号平成26年度塩尻市一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。説明を求めます。

○財政課長 それでは、よろしく願いいたします。資料の8、9ページをお願いいたします。歳入でございますが、今回お願いいたしますのは、国の経済対策に対応いたしましたプレミアム付商品券交付事業、この速やかな実施を図るためと、また除雪対策経費、これまでの実績が確定をしまりましたので、これも事業者等への支払いに対応するために予算を計上させていただいたものでございます。補正額2億4,000万円に對しまして、財源について説明をさせていただきます。

まず、1款市税でございますが、法人市民税でございます。現年度課税分につきましては、今年度製造業を中

心にいたしまして増額が見込まれておりますので、この5号で1億4,000万円余を充当させていただくものであります。

また14款国庫支出金、商工費補助金でございますけれども、説明欄でございますように地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）でございますまして、国の第一次補正予算に対応いたしまして、地域の消費喚起に向けた、なおかつ地域の実情に応じた取り組みを支援をすると、こういう交付金でございます。国の予算規模につきましては2,500億円でございますまして、地方につきましては、人口あるいは財政力、また消費水準等を反映する係数により算出をされまして、本市におきましては9,998万9,000円の限度額が内示をされている状況でございます。事業につきましては、プレミアム付商品券の交付事業ということで、発行総額5億2,000万円、4月15日から優先販売を行うこととしております。

また、前のページに戻っていただきまして4ページでございますが、繰越明許費でございますけれども、プレミアム付商品券にかかわります地域経済活性化推進事業の繰り越しをお願いをするものでございます。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長 それでは、委員の皆さんから質疑を受けたいと思います。

○柴田博委員 国の交付金のほうの関係ですが、これは限度額があつて国のほうで計算されていて、その限度額まで無条件に交付される。こちらで何も意思表示をしなくても交付されるという、そういう性格のものなのか、それとも市町村のほうでこういうことをやるんでお願いしますというようなことでやるのか、その辺についてはどういう形なんでしょうか。

○財政課長 交付の算定方法につきましては、先ほど申し上げましたように財政力ですとか人口、あるいは消費水準、例えば小売年間販売額といったような係数を用いて国のほうで算出をしまりまして、この限度額の中で地域の実情に応じた消費喚起の事業を行っていただきたいということでございます。灯油の補助みたいなもの、あるいは宿泊券ですとか旅行券といった事例もございますけれども、できるだけ消費喚起に直接結びつく事業をしていただきたいというのが国の考え方でございます。

○柴田博委員 それで、塩尻市のほうでこういうことをやりたいんで限度額までお願いしますというふうに、そういう意思表示をすれば交付されるというものなのか、それとも無条件にそれだけ交付されるのか、それを聞いています。

○財政課長 無条件に交付されるわけでございます。

○柴田博委員 される。じゃあ、いいです。

○委員長 ほかにございますか。

○山口恵子委員 今の関連ですけれども、塩尻市の消費水準はどの辺の位置にあるのか、その辺のことはわかりますか。例えば、県内19市の中でどの辺になるのか。結局、小売年間額ということは、市内の商店の売り上げとか、そういうことの関係が反映されたというか、判断されてこういう金額になったかと思うんですけど、もしおわかりになれば。

○財政課長 本市の年間小売販売額というのは、現時点では把握はしておりませんが、24年度の経済センサスの数値を用いまして小売の販売額のほかにですね、サービス業対個人事業収入額、これを人口で除した数値を採用しているということで、難しい説明で大変恐縮でありますけれども、よろしくお願いいたします。

○委員長 いいですか。ほかにございますか。

○森川雄三委員 これ、品物をね、買う補助と、飲食店とかそういうのも使えるの。どこら辺、これは会議所で最終的にはあれを管理というか、形を交付するわけだけど、そこら辺はわかります。

○財政課長 飲食店等でも使用が可能ということでございまして、1万円で1セットのものを、1万2,000円の商品券を販売するというようなことで、購入限度額は1人当たり5セット、販売額で5万円というようにことを想定しているようでございます。

○柴田博委員 この限度額ですけど、ほかの市と比べてみると塩尻市っていうのは何番目くらいになるんですか、わかれば。

○財政課長 県内、当市と比べますとやはり人口等によりまして差がありまして、一番大きい長野市が4億9,000万円、松本市が3億1,000万円、塩尻市とほぼ同額なところにつきましては、須坂市の8,800万円ということで、市内の順位を今数えますと9番目でございます。

○柴田博委員 はい。

○委員長 よろしいですか。ほかにございますか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長 よろしいですか。討論を行います。ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長 なければ、議案第32号平成26年度塩尻市一般会計補正予算（第5号）で、当委員会に付託された部分について可決すべきものとすること、異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長 異議なしと認め、当委員会に付託された部分については、可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、総務環境委員会を閉会します。御苦労さまでした。

午前11時43分 閉会

平成27年2月24日（火）

委員会条例第29条の規定に基づき、次のとおり署名する。

総務環境委員会委員長 古畑 秀夫 印